

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)

【公開番号】特開 2005-26204 (P2005-26204A)

【公開日】平成 17 年 1 月 27 日 (2005.1.27)

【年通号数】公開・登録公報 2005-004

【出願番号】特願 2004-4350 (P2004-4350)

【国際特許分類】

H 0 5 B 6/12 (2006.01)

H 0 5 B 6/36 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 6/12 3 0 8

H 0 5 B 6/12 3 0 3

H 0 5 B 6/36 E

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 21 日 (2005.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被加熱物を載置する矩形状のトッププレートに有する筐体に、2つの加熱コイルが内装された誘導加熱調理器において、該加熱コイルは、互いに直交する長軸と短軸とを有する扁平形状に形成されて、トッププレートの長手方向に沿って並べられ、各加熱コイルの短軸が略同一直線上に位置し、加熱コイルの長軸が筐体の長手方向を四等分する等分線のうち外側の等分線より外側に位置し、加熱コイルの短軸を利用して2つの加熱コイル相互間を広げたことを特徴とする誘導加熱調理器。

【請求項 2】

前記トッププレートの長辺の長さが、加熱コイルの中心間距離の2倍以上になるように設定されたことを特徴とする請求項 1 記載の誘導加熱調理器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

上記目的を達成するために、本発明は、被加熱物を載置する矩形状のトッププレートに有する筐体に、2つの加熱コイルが内装された誘導加熱調理器において、該加熱コイルは、互いに直交する長軸と短軸とを有する扁平形状に形成されて、トッププレートの長手方向に沿って並べられ、各加熱コイルの短軸が略同一直線上に位置し、加熱コイルの長軸が筐体の長手方向を四等分する等分線のうち外側の等分線より外側に位置し、加熱コイルの短軸を利用して2つの加熱コイル相互間を広げたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

また、トッププレートの長辺の長さが、加熱コイルの中心間距離の 2 倍以上になるように設定されたことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

上記構成によると、トッププレートの長辺の長さは、両加熱コイル間の中心間距離の 2 倍以上の長さで形成するので、被加熱物を置く位置がトッププレートの外周からはみ出すことがない。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】